

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-36
補助事業名 平成22年度 組込み技術の高度化と環境整備に関する調査研究等
補助事業
補助事業者名 社団法人組込みシステム技術協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

産業機器、家電製品等の製品に組み込まれている組込み技術は、今日わが国の基幹技術ともなっている。不況による輸出産業の衰退を克服するためには、わが国の得意とする基礎技術を高度化し、技術立国をする必要がある。

そのために、組込み技術者の育成と技術の高度化を全国レベルで展開する。

(2) 実施内容

① 地域振興・活性化のための「組込み技術」に関するフォーラムの全国開催

◆◆◆◆◆ (URL)

組込みシステム及び技術に関する調査研究・普及啓発を中心に、地域間格差の是正を図り、地場産業などの活性化を実現した。このために全国の中心都市を中心に、組込み技術セミナーを実施し、技術の側面からの底上げを図った。

② 組込みシステムに関わるハードウェア技術要素のマップ化

☆☆☆☆☆ (URL)

組込みシステムのハードウェア技術要素を検討・抽出し、それぞれの開発工程に沿った「組込みハードウェア技術マップ」を取りまとめるため、第一段階として、ハードウェア技術の現状調査と定義・位置づけを行った。その成果を発表会で発表したほか、今後の指針を含めて調査研究報告書としてまとめ、公開した。

③ 組込みシステム設計の信頼性・安全性向上に係る手法・フレームの調査研究

☆☆☆☆☆ (URL)

情報セキュリティ対策および機能安全について、組込みシステムの技術的側面に焦点を当て、調査研究を行った。その成果を研修会や発表会で発表したほか、今後の指針を含めて調査研究報告書としてまとめ、公開した。

2 予想される事業実施効果

① 地域振興・活性化のための「組込み技術」に関するフォーラムの全国開催

近畿、中部、東北、関東地区の組込み技術に対する認識が向上するだけでなく、組込み技術に関する最新の情報を提供することにより、技術者の開発技術の向上が期待できる。

② 組込みシステムに関わるハードウェア技術要素のマップ化

「組込みハードウェア技術マップ」をとりまとめるための調査研究により、組込みハードウェアの重要性への認識が高まり、組込みハードウェアに関する技術

の高度化が図られる。

- ③ 組込みシステム設計の信頼性・安全性向上に係る手法・フレームの調査研究
製品の安全性、信頼性設計などの情報を提供することにより、安全性への認識が高まり、安全に関する技術の高度化、経営の効率化が図られる。

3 本事業により作成した印刷物等

組込み技術フォーラム（大阪）テキスト

組込みシステム技術セミナー（名古屋）テキスト

組込み技術フォーラム（横浜）テキスト

「組込みシステムにおける情報セキュリティ対策および機能安全に関する調査研究」報告書 ★★★★★◆◆◆◆◆◆◆◆ (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 組込みシステム技術協会

(シャダンハウジン クミコミシステムギジュツキョウカイ)

住所： 〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町1-8-12東実年金会館8階

代表者： 会長 松尾隆徳（マツオ タカノリ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 前澤敏昭（マエザワ トシアキ）

電話番号： 03-5821-7973

F A X : 03-5821-0444

E-mail : maezawa@jasa.or.jp

U R L : <http://www.jasa.or.jp/>